

# 地震に備える

国危機管理課 ☎(235)4790



地震に対して日頃から個人でできることは「備え」です。避難方法の確認や食料・飲料の備蓄、自宅の安全対策をして災害時に備えましょう。万が一のときでも損傷が少ない場合は自宅で過ごせます。自力で生活ができる環境づくりが必要です。



## 確認しよう 避難先

市の避難所以外にも自宅が安全な場合の「在宅避難」、親戚・知人宅などへの「縁故避難」も選択肢に入れ、避難先をいくつか検討しましょう。コロナ禍では密を避けるための「車中泊避難」も短時間であれば有効です。

市の避難所は居住地にかかわらず32カ所のどこの避難所でも利用できます。災害時には、市防災ホームページなどで避難所の開設情報を発信します。

親戚や知人宅への縁故避難



車中泊避難



ホテル避難



自宅が安全な場合の在宅避難



## 準備しよう

### 非常持ち出し品 生活必需品

災害発生時は商品の品薄や、ライフラインの断絶が想定されます。食料や飲料の消費期限の確認をはじめ、避難をするときの非常持ち出し品や、「在宅避難」をする場合の生活必需品を準備しましょう。常備薬のほか、服用している薬なども備えましょう。



3日間の生活ができる分量を最低限の目安に、できる限り1週間分の備蓄品を準備しましょう。

- 食料(ご飯・ビスケット・チョコレート・カンパンなど)
- 飲料(1人1日3リットル目安)
- 感染予防品(マスク・手指消毒液など)
- トイレ袋・トイレレットペーパー・ティッシュペーパー・洗面用具・生理用品
- ヘルメット・防災頭巾・軍手・衣類・タオル・ラジオ・マッチ・ろうそく・カセットコンロ・カセットボンベ・携帯ラジオ・電池
- 救急用品(ばんごう・常備薬など)
- 貴重品(通帳・証明書類・現金など)
- ペット用品(ペットフード・水・リード・ペットシート・ケージなど)

### 主な備蓄品

## トイレ袋

必ず備えよう!



震災直後は下水道の破損などでトイレが使用できなくなる可能性があります。トイレ袋を必ず備えましょう。破損した下水道に水を流すと、近隣の家のトイレが逆流するなどの被害が出やすくなり、復旧が大幅に遅れる原因にもなります。



### 凝固剤タイプ

トイレに袋をかぶせて使うタイプ。使用後に凝固剤をかけて固めます。



### 高速吸水シートタイプ

袋と吸水シートが一体化したタイプ。袋を開くだけで使用できます。

## 対策しよう

### 自宅の安全

自宅の倒壊は免れても、家具類の転倒や落下物だけがをしたり、命を落としたりする危険性があります。家の内外を点検し、安全対策をしましょう。

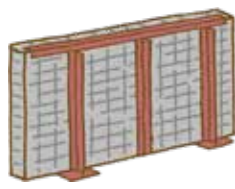
- ☑ 家具が少ないスペースを確保



- ☑ 家具の固定や転倒防止安定板の設置



- ☑ ブロック塀や屋根などの点検



- ☑ 窓ガラスの飛散防止



安全対策費用の一部を補助 国住宅まちづくり課 ☎(235)9606 詳細はお問い合わせください。

### ブロック塀などの撤去

ブロック塀などの倒壊による周囲の人への被害を未然に防ぐため、撤去費用の一部を補助します。  
対 高さ60cm以上で道路に面したブロック塀など

### 木造住宅の耐震対策

住宅倒壊による居住者などへの被害を未然に防ぐため、耐震診断や改修工事の費用の一部を補助します。  
対 昭和56年5月31日以前に建築した2階建て以下の在来工法木造住宅